

## 第3回 ダムによらない治水を検討する場 説明資料

平成21年6月8日

国土交通省 九州地方整備局

## < 第3回の会議で説明する事項 >

現在の河道で市房ダムを再開発したのちに、昭和40年7月降雨が降った場合、河道や周辺がどういった状況になるか。

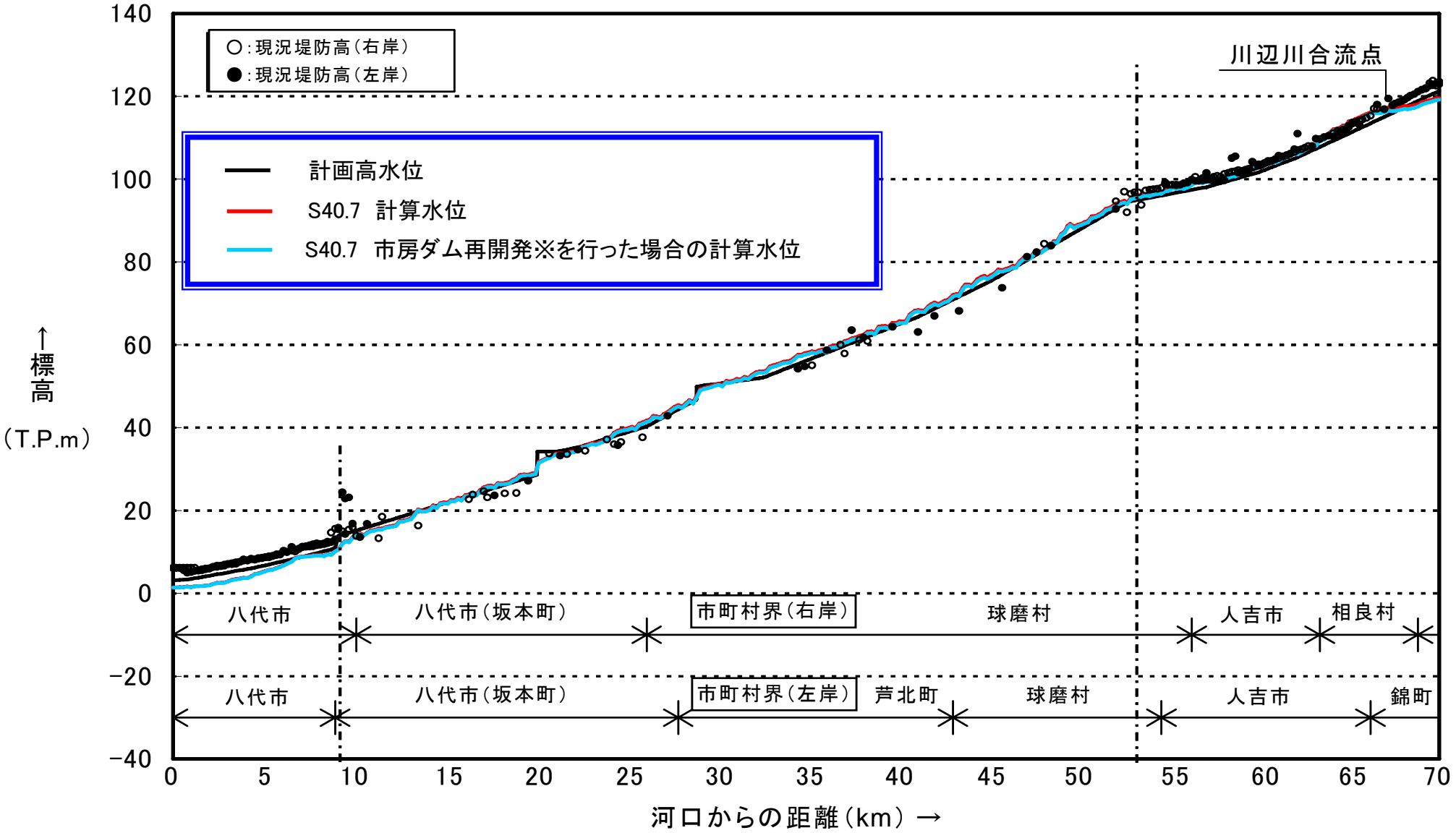
## 目次

○昭和40年7月降雨に対する市房ダム再開発(治水容量の増量+S40.7洪水対応操作)後の

シミュレーションの結果

..... 1

- ※1 S40.7洪水対応操作とは、熊本県から提示された検討条件ですが、S40.7洪水に限って容量を洪水調節のために最も有効に使うと仮定した操作であり、貯留後のダムからの放流などダム管理上可能かどうか、また他の洪水時においても洪水ピークカットが可能かどうかなどについて検証していません。
- ※2 貯水位を上げようとする場合には、ダム高の嵩上げ等の堤体構造検討やゲートの構造の改良や補強工事等が必要となるとともに、ダム湖に流入している支川への影響の検討と所要の対策が必要となります。
- ※3 運用変更を行う場合には、発電容量の買取や事前放流について関係機関との調整や費用負担が必要となります。
- ※4 市房ダム再開発を行えば本川の水位が低下するため、川辺川にも効果がありますが、その効果が微少なため、今回の資料には掲載していません。
- ※5 検討条件については参考資料①の2～6ページを参照。



※市房ダム再開発についての留意点は1ページの※1, 2, 3, 4, 5を参照

◆下流地区(八代市萩原町)

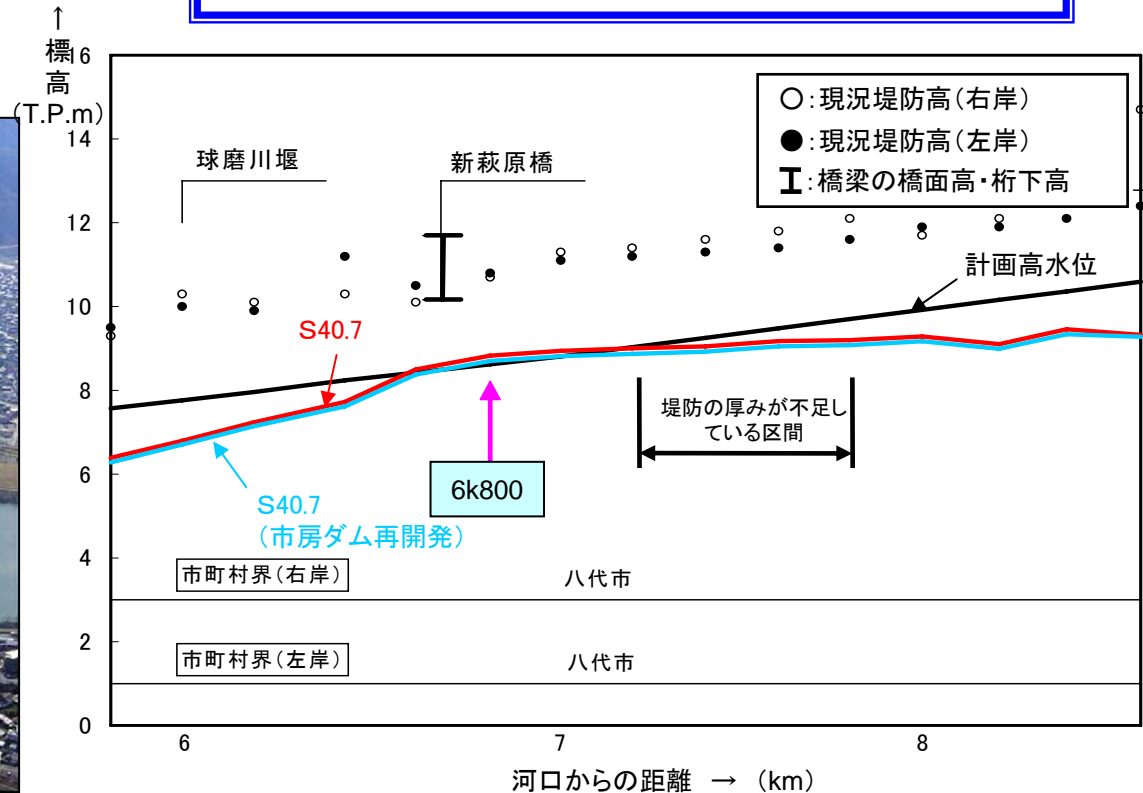
球磨川6k800における水位低減効果

・昭和40年7月降雨によるシミュレーションにおいて、市房ダム再開発※の効果により、ピーク水位が約10cm低下する。

堤防が決壊しないと仮定した場合の水位

- S40.7 計算水位
- S40.7 市房ダム再開発※を行った場合の計算水位
- 計画高水位

八代市萩原町付近の航空写真



※市房ダム再開発についての留意点は1ページの※1, 2, 3, 4, 5を参照

◆中流地区①(八代市坂本地区)

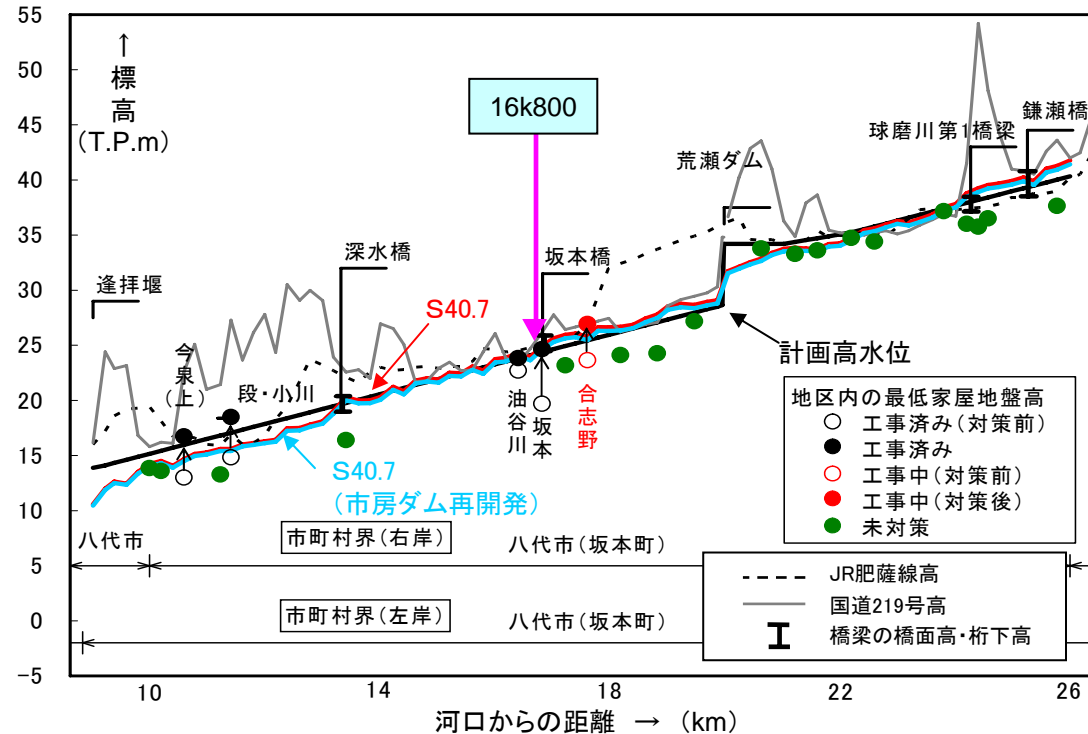
球磨川16k800における水位低減効果

・昭和40年7月降雨によるシミュレーションにおいて、市房ダム再開発※の効果により、ピーク水位が約30cm低下する。

堤防が決壊しないと仮定した場合の水位

- S40.7 計算水位
- S40.7 市房ダム再開発※を行った場合の計算水位
- 計画高水位

八代市坂本地区の航空写真



※市房ダム再開発についての留意点は1ページの※1, 2, 3, 4, 5を参照

◆中流地区②(芦北町白石地区)

球磨川38k200における水位低減効果

- ・昭和40年7月降雨によるシミュレーションにおいて、市房ダム再開発※の効果により、ピーク水位が約40cm低下する。

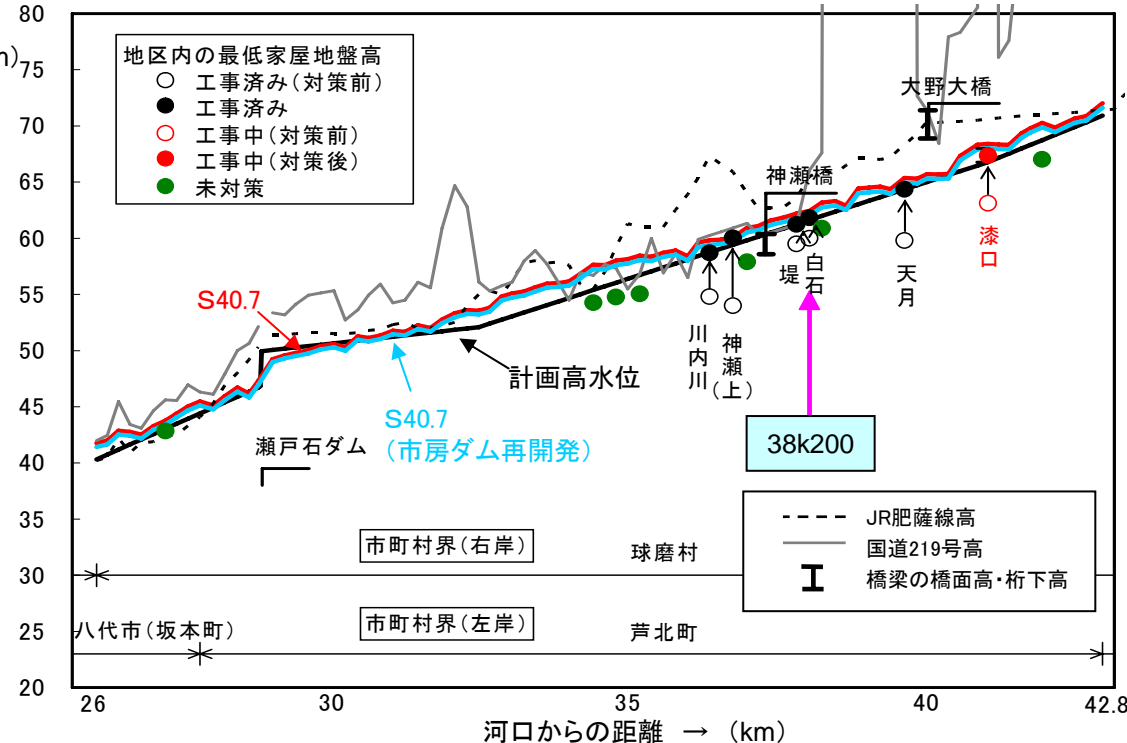
堤防が決壊しないと仮定した場合の水位

- S40.7 計算水位
- S40.7 市房ダム再開発※を行った場合の計算水位
- 計画高水位

芦北町白石地区の航空写真



↑  
標高  
(T.P.m)



※市房ダム再開発についての留意点は1ページの※1, 2, 3, 4, 5を参照

◆中流地区③(球磨村堤地区)

球磨川37k800における水位低減効果

・昭和40年7月降雨によるシミュレーションにおいて、市房ダム再開発※の効果により、ピーク水位が約40cm低下する。

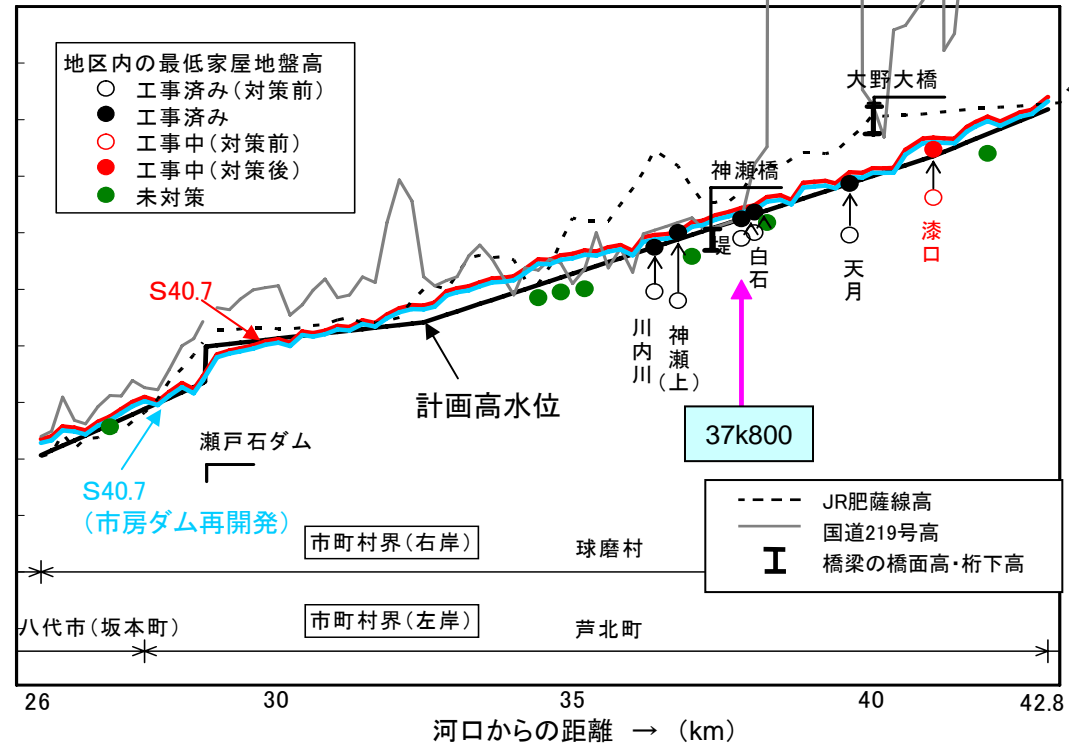
堤防が決壊しないと仮定した場合の水位

- S40.7 計算水位
- S40.7 市房ダム再開発※を行った場合の計算水位
- 計画高水位

球磨村堤地区の航空写真



↑  
標高  
(T.P.m)



※市房ダム再開発についての留意点は1ページの※1, 2, 3, 4, 5を参照

◆人吉地区(人吉市九日町)

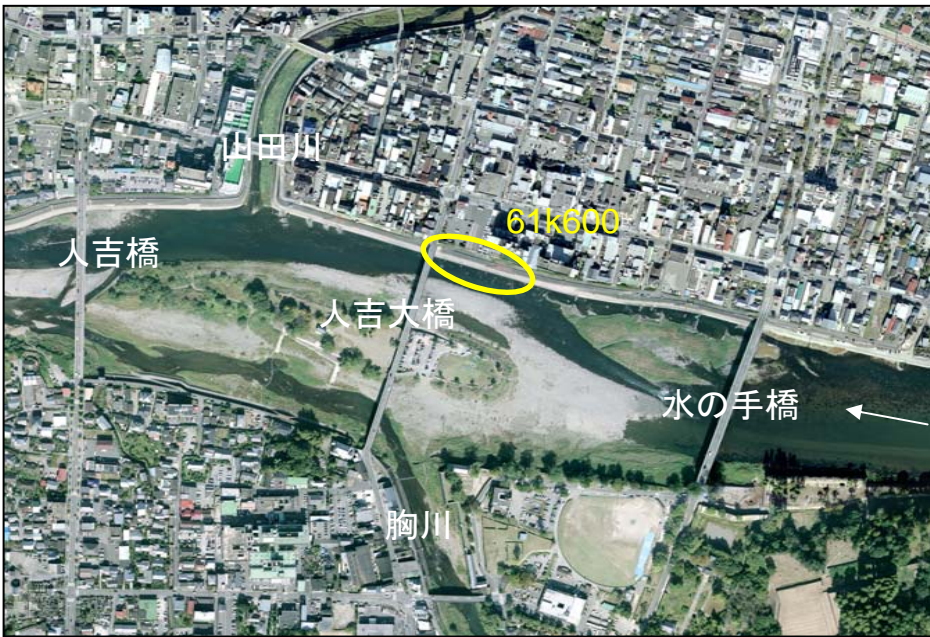
球磨川61k600における水位低減効果

- ・昭和40年7月降雨によるシミュレーションにおいて、市房ダム再開発※の効果により、ピーク水位が約30cm低下する。

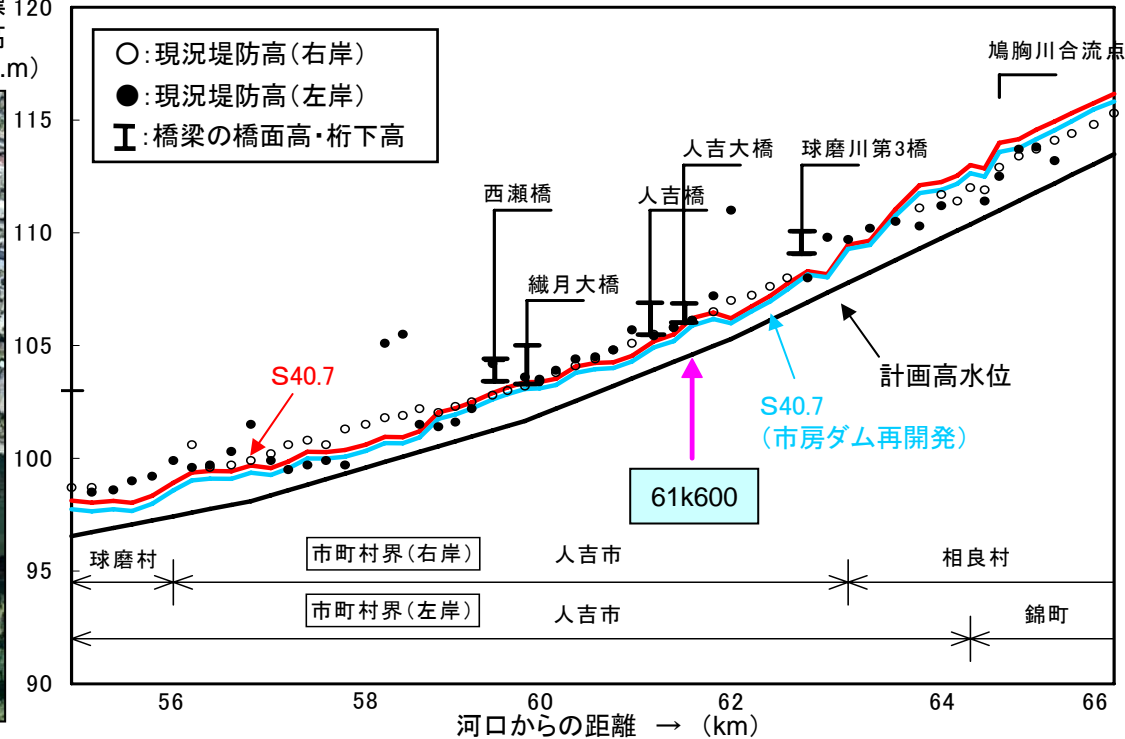
堤防が決壊しないと仮定した場合の水位

- S40.7 計算水位
- S40.7 市房ダム再開発※を行った場合の計算水位
- 計画高水位

人吉市九日町付近の航空写真

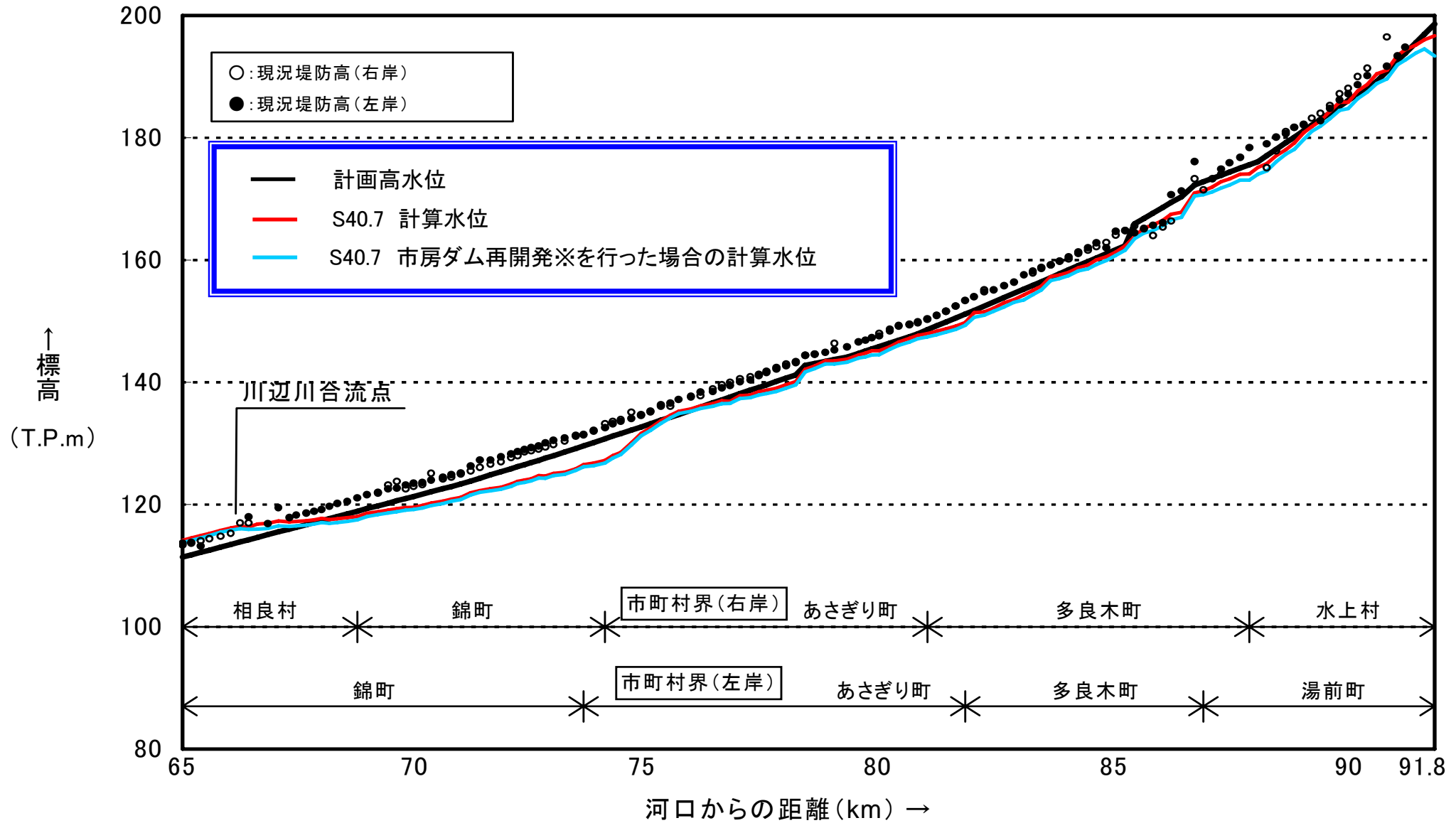


↑  
標高  
(T.P.m)



※市房ダム再開発についての留意点は1ページの※1, 2, 3, 4, 5を参照





※市房ダム再開発についての留意点は1ページの※1, 2, 3, 4, 5を参照

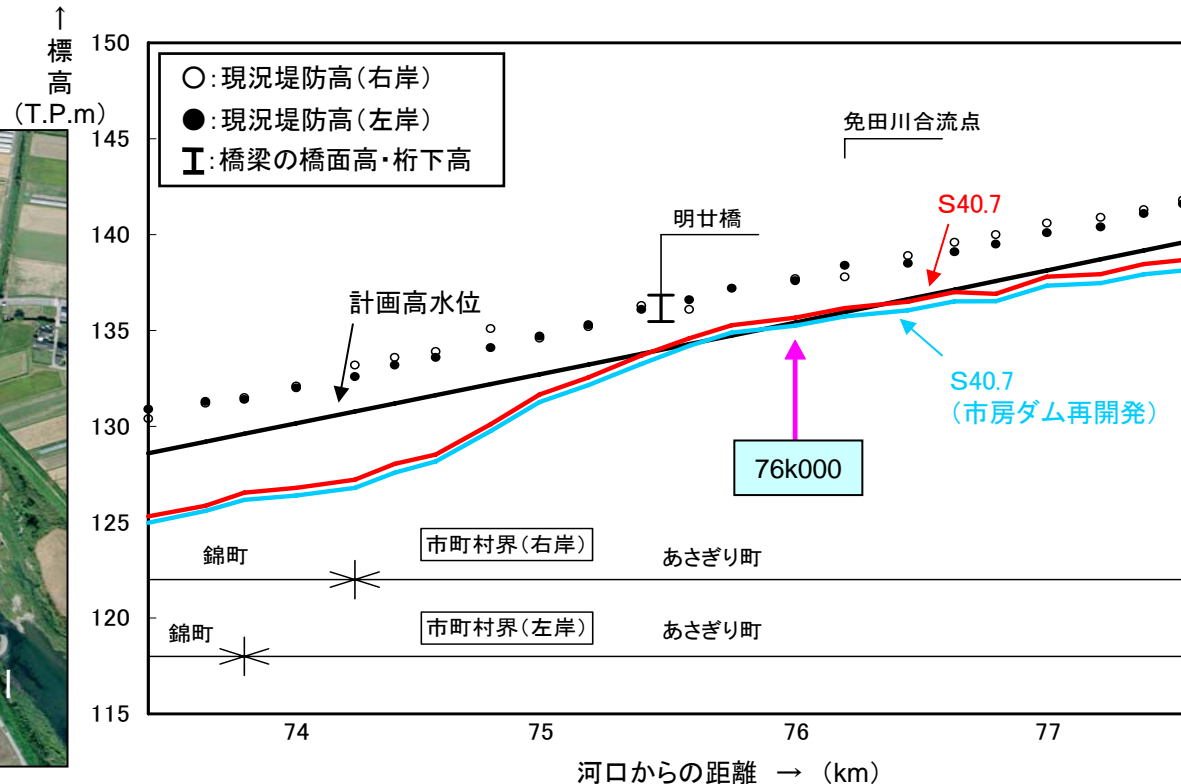
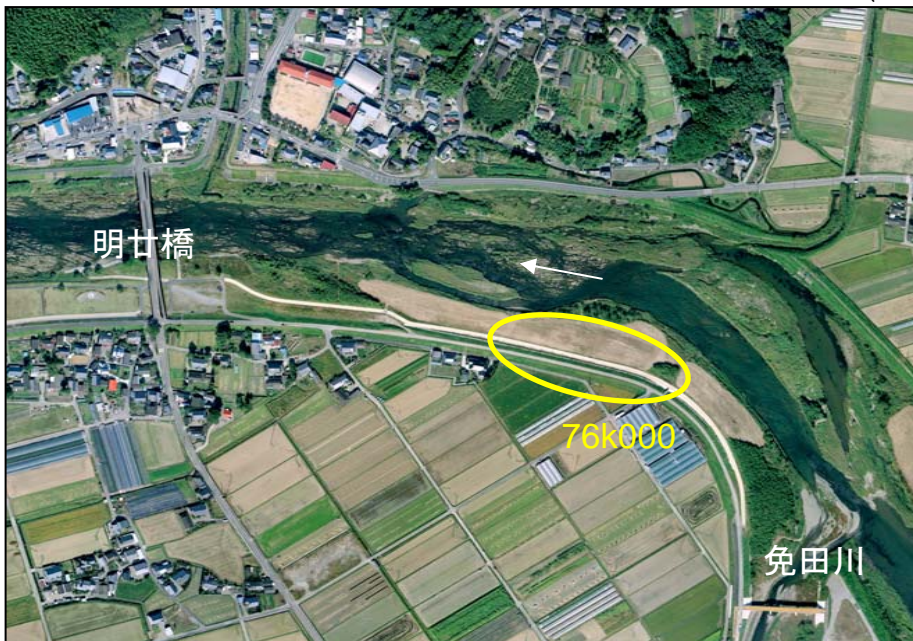
◆上流地区(あさぎり町あさぎり町明廿橋付近)  
球磨川76k000における水位低減効果

- ・昭和40年7月降雨によるシミュレーションにおいて、市房ダム再開発※の効果により、ピーク水位が約40cm低下する。

堤防が決壊しないと仮定した場合の水位

- S40.7 計算水位
- S40.7 市房ダム再開発※を行った場合の計算水位
- 計画高水位

あさぎり町明廿橋付近の航空写真



※市房ダム再開発についての留意点は1ページの※1, 2, 3, 4, 5を参照